

夢実現



平成30年12月21日(金)

日向市立美々津中学校

校長 崎田 浩二

『冬来たりなば 春遠からじ』

寒い冬がやってきました。今年は、冬の訪れも遅くてようやく冷えてきたという感がありますが、ここ数日の冷え込みには、やはり厳しい冬を感じさせられます。標題の意味は、「今は辛い状況であっても、じっと耐え忍んでいれば、きっと幸せは巡ってくる」という意味です。自然の中の植物に例えると、冬枯れの様相の中にも春の芽吹きへの準備が着々と進められており、暖かい春になると美しい花を咲かせますよね。桜が良い例で、これから年明けの桜の幹を削ると樹液が段々ピンク色になってきます。学校では、現在の3年生にはぴったりの意味ではないでしょうか？この寒い冬を耐え忍びつつ、じっくり実力を養ってください。そして、春には全員が希望高校に合格して、皆さんの素敵な笑顔が見られることを期待しています。

最後まで見逃せない部活動の活躍！

寒い12月に入ってから部活動生徒の活躍が続きました。12月の第1週の土・日は、女子テニス部が九州インドアテニス大会に個人戦で参加し、練習の成果を出していました。また、先日9日(土)、10日(日)には、野球部が財杯で優勝、女子バレー部が日豊ウインタースカップの2位リーグで優勝とその実力の程を見せられました。野球は、エース海野君と主将の矢野君を両軸に2試合にコールド勝ち、そして準決勝と決勝は、二人が圧巻のピッチング(両試合とも無失点)を見せて優勝しました。女子バレーも河野美さんと高尾さんの両輪が大活躍し、全試合を2-0のストレートで勝利しました。両部とも今年最後の大会に好成績で、平成30年の良い締めになりました。



「財杯」優勝の野球部



日豊ウインタースカップの表彰式



☆挨拶に思う☆

「おはようございます」、「失礼します」「すみません」、「ありがとう」等、私たちは、日常生活の中の様々な場面で挨拶を交わします。美々津中学校の生徒達の挨拶も朝から実に気持ち良く、私にとって一日の活力剤となっています。

そもそも『挨拶』という言葉は、仏教語であり、『拶』は「開く」「近づきあう」、『挨』は、「迫る」、「相手のいいものを引き出す」という意味があります。『挨拶』することによって、自分の心を開いて相手に近づき相手の心に迫ることができます。

生徒の皆さんの『挨拶』は、学校ではしっかりできるようになっています。地域においても学校以外の場でも自然にできる『挨拶』に高められると自分の成長につながりますよ。

※「挨拶」は仏教語で「一挨一拶」の略。互いに押し合うという意から禅家で師と修行僧の押し問答に使う。

平成 30 年度所感

平成 30 年も早暮れゆく季節となりました。4 月に美々津中学校に赴任して、既に 8 ヶ月が過ぎようとしています。一昨年に平岩小中学校から宮崎市の久峰中学校へと異動し、わずか一年でまた県北の本校に異動になるとは、夢にも思っていませんでした。めまぐるしく環境が変わったこの 2 年間でしたが、個人的には大好きな県北、しかも美々津中に勤務できて大変嬉しく思っています。

さて、4 月からを振り返ってみますと全国的には、風水害や地震の被害も多く、本校も秋の二つの台風では、校舎内が水浸しになるなど、少なからず被害を受けました。しかし、本校の生徒達は、固い絆に結ばれ、様々な学校行事にその力を精一杯発揮してくれました。また、部活動においても各々が様々な大会で活躍し、美々津中学校の存在と活躍を県全体に知らしめました。さらに上記のような災害の際にも校舎内外の片付けや清掃に積極的に取り組んでくれるなど、本当に何事にも純粋に取り組む素晴らしい生徒達に、何度も頭が下がる思いがしました。

また、生徒達の頑張りを家庭で支えてくださる保護者の皆様、熱い想いで日頃から細やかな指導で生徒を育ててくれる職員達、そして区長さんや民生委員の皆様を始め、地域で子ども達を温かく見守っていただける方々にも感謝を申し上げます。本当に、この学校に勤務できることに大きな幸せを感じることができた 8 ヶ月間でした。HP も細かく更新していきますので、来年も本校生徒の活躍を見守っていただけますと幸いに思います。

★★★ 芝刈り機を購入しました！ ★★★

技術員の林田先生を始め、夏の奉仕作業や野球部の保護者による草刈りを見ていて、本校の除草は大変だと感じ、毎月区長会の席で体育文化後援会に乗用式の芝刈り機を購入を要望して参りました。11 月に購入の承認をいただき、12 月に入り、先日発注いたしました。体育文化後援会の皆様方には大変感謝いたします。また、紙面を利用して保護者の皆様には、このことをお知らせいたします。

《平成 31 年度からコミュニティスクールスタート》

平成 31 年度から日向市では、コミュニティスクール(以下CS)をすべての小中学校でスタートします。

CSとは、どんな制度なのかといいますと従来の学校評議員制度に変わって導入されるものです。ただし、学校評議員制度は、主に学校評価のための色合いが強かったのですが、CSでは地域と学校がより強く結びついたものとなります。その目的は以下の通りです。「各学校と地域住民が、各学校の教育目標を共有し、地域の声を聞きながら、地域と力を合わせて学校運営に取組み、組織的・継続的な連携を図り、よりよい学校作りをめざすもの。」

美々津中学校区では、美々津小学校・寺迫小学校・美々津中学校の 3 校合同で発足する予定です。美々津・寺迫地域の皆様、今後とも子ども達のために、学校のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。また、子ども達も地域の行事に進んで参加しますし、地域の事業所の皆様方に様々な面でお世話になるかと思えます。地域と学校が一体となれる美々津地区にしていきたいと思います。

12/14 (金)

新入生・保護者説明会より

この日は、来年 4 月に入学してくる美々津小、寺迫小の児童と保護者を対象にした説明会を行い、32 名の児童とその保護者が参加しました。説明の中では、小学校と中学校の違いをクイズ形式で解りやすくした説明や、人生の中でのギャップを乗り越えるために様々な決まりを守る必要があること等についての話などに、児童の皆さんは、新鮮な面持ちで話にじっと聞き入っていました。【下は説明会の様子】

